

イー・カムトゥルー (3693)

累積損失の解消が課題、黒字転換、財務健全化を目指す！

TOKYO PRO Market | アプリケーションソフトウェア | 業績フォロー

BLOOMBERG 3693 JP | REUTERS 3693.T

- 2018/12 期 1H (1-6 月) は、売上高が前年同期比 26.0%増の 1.92 億円、営業損益が▲1,705 万円、経常損益が▲1,890 万円、中間純損益が▲1,928 万円と営業段階以下の損益において赤字転落となった。
- 1H のセグメント別収益は、SaaS 型店舗管理システム事業 (店舗の売上管理や出退勤情報などの情報処理) の売上高が同 17.3%減の 1.12 億円、セグメント利益が同 34.0%減の 3,270 万円、その他事業は売上高が同 4.9 倍の 7,956 万円、セグメント損益が▲1,871 万円 (前年同期は▲1,190 万円) と大幅増収も赤字拡大となった。
- 2018/12 通期会社計画は、売上高が前期比 37.8%増の 4.62 億円、営業利益は同 2.5 倍の 42 百万円、経常利益が同 2.2 倍の 38 百万円、当期純利益は同 2.2 倍の 33 百万円である。

What is the news?

2018/12 期 1H (1-6 月) は、売上高が前年同期比 26.0%増の 1.92 億円、営業損益が▲1,705 万円、経常損益が▲1,890 万円、中間純損益が▲1,928 万円と営業段階以下の損益において赤字転落となった。大幅増収となったが、売上総利益率が前年同期の 45.8%から 27.2%と大幅に悪化し、経費を抑制し販管費率は 4.1 ポイント改善したものの補いきれず、営業損益の段階で赤字転落となった。運転資金の調達を目的にメインバンクである北洋銀行を引受先とする社債 1 億円を発行。財務健全化に向け、同行のプロポーザルにより既存借入金返済をリスケジュールし、同行から借り入れ、日本政策金融公庫からの借入金返済を行っている。

1H のセグメント別収益は、SaaS 型店舗管理システム事業 (店舗の売上管理や出退勤情報などの情報処理) の売上高が同 17.3%減の 1.12 億円、セグメント利益が同 34.0%減の 3,270 万円、その他事業は売上高が同 4.9 倍の 7,956 万円、セグメント損益が▲1,871 万円 (前年同期は▲1,190 万円) と大幅増収も赤字拡大。その他事業は、取引先企業に対し主にシステムエンジニアの派遣を行う労働者派遣事業及び特定派遣事業及び連結子会社のイーカム・ワークス株式会社が顧客企業への集客支援を行うマーケティング支援事業を展開している。業容急拡大によるコストの大幅増、多額の出資や貸倒損失発生等から損益及び財務が悪化している。

How do we view this?

2018/12 通期会社計画は、売上高が前期比 37.8%増の 4.62 億円、営業利益は同 2.5 倍の 42 百万円、経常利益が同 2.2 倍の 38 百万円、当期純利益は同 2.2 倍の 33 百万円である。「Win-Board.biz」導入企業を対象に、新たな付加価値サービスを提供し、SaaS 型店舗管理システム事業の拡大を目指している。同社が事業展開を行う国内クラウドサービスの 2016 年度の国内市場は、前年度比 38.5%増の 1 兆 4,003 億円となった模様。2018 年度には 2 兆 1,289 億円、2021 年度には 3 兆 5,713 億円に成長すると予測されている (株式会社 MM 総研 2017/12/27 公表)。

同社は、赤字により累積損失が 2018/1H 末で 1 億 7,973 万円に拡大しており、期間利益の黒字化が急がれる状況にある。

業績推移

事業年度	2013/12	2014/12	2015/12	2016/12	2017/12	2018/1H	2018/12F
売上高(百万円)	246	332	319	331	335	192	462
経常利益(百万円)	8.03	4.64	-10.88	15.01	17.51	-18.90	38
当期純利益(百万円)	7.55	5.04	-11.64	12.43	15.08	-19.28	33
EPS (円)	27.95	8.16	-17.08	17.23	20.88	-26.69	45.73
PER (倍)	12.88	44.12	-21.08	20.89	17.24	-	7.87
BPS (円)	23.72	65.43	79.45	97.76	118.64	91.15	-
PBR (倍)	15.18	5.50	4.53	3.68	3.03	-	-
配当 (円)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

配当予想 (円) 0.00 (会社計画)
 株価 (円) 360 2018/9/4 (基準値)

会社概要

2000/5に札幌市において、情報処理システムのコンサルティングを目的とする会社として設立。2003/8にSaaS (※)型企業ポータルサービスを開始。同社グループは、同社及び連結子会社のイーカム・ワークスで構成されている。同社は、顧客企業に対し低コストで導入可能な店舗管理システムを提供する「SaaS型店舗管理システム事業」及びその他事業として「労働者派遣事業」、「FC本部支援事業」を展開し、連結子会社のイーカム・ワークスは、顧客企業の集客活動を支援する「マーケティング支援事業」を行っている。

同社の主力事業は自社開発のSaaS型店舗管理システムを提供する「Win-Board.biz」であり、自社におけるシステムの開発及びカスタマイズ、タブレット端末を使ったPOSシステム及びオーダーエントリーシステムの提供、それに伴うハードウェアの販売まで展開し顧客の多様なニーズに沿った最適なサービスを提供している。

2014/10に東京証券取引所TOKYO PRO Marketに株式を上場。2015/2には日本企業の東南アジア進出支援並びに東南アジア企業の日本進出支援事業を開始した。(※) SaaS (Software as a Service) とは、ソフトウェアをユーザー側に導入するのではなく、ベンダ (プロバイダ) 側で稼働し、ソフトウェアの機能をユーザーがネットワーク経由で活用する形態を指す。

企業データ



主要株主 (2017/12/31)	(%)
1. 株式会社EGS (注)	27.03
2. ジェイウィング・キャピタル株式会社	13.84
3. 浅田一憲	10.38

(注) 特別利害関係者等 (同社代表取締役社長が取締役を兼任する会社)
 (出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

庵原 浩樹
 hiroki.ihara@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

増淵 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp
 +81 3 3666 0707

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹
公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平14.1.25)」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当J-Adviserに就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っております。